

## 〔国際会議開催〕

申請者	大阪大学 教授 白神 宏之	2165010
国際会議名称	31 <sup>st</sup> International Congress on High-Speed Imaging and Photonics (ICHSIP-31)	
開催期間	2016 年 11 月 7 日～11 月 10 日	
開催場所	ホテル阪急エキスポパーク (大阪府吹田市)	
申請者の役割	議長, 組織委員会委員長, 国際科学諮問委員会委員	

## 概 要 :

第 31 回高速度イメージングとフォトニクスに関する国際会議 (31st International Congress on High-Speed Imaging and Photonics) は, 平成 28 年 11 月 7 日 (月)～10 日 (木) に, ホテル阪急エキスポパーク (大阪府吹田市千里万博公園 1-5) にて開催された。隔年で開催される本国際会議は, 第 1 回会議が 1954 年に開催されて以来 60 年の歴史を有し, 今回で第 31 回を迎えた。参加者総数は 15ヶ国から 273 名を集め, 4 日間の会期で発表論文総数は 268 件 (内, 招待講演 51 件, 口頭講演 152 件, ポスター講演 65 件) であった。本会議は高速度イメージングとフォトニクスの広範な分野をカバーし, I : 高速度イメージング装置 (センサー, カメラ, レーザー, ホログラフィーなど), II : 物理応用 (流体, 爆発, 衝撃波, 衝突現象, 物質プロセッシング, 核融合, プラズマ, 宇宙応用など), III : 医学生物応用 (スポーツ科学, 生物, 心臓血管, 脳神経, 呼吸器・関節, 細胞, 微生物など) にわたる多彩な分野で, 最短はアト秒のポンプ・プローブ・イメージングから, 毎秒 10 コマの原子間力顕微鏡まで, それぞれ最先端の研究開発の成果が報告された。本会議の特徴として, 異なる分野間においても高速度イメージングの観点からは共通する原理による技術開発や問題解決が図られることが可能であるため, 分野間の交流が大きな意義を持つことが挙げられ, その特徴が最大限に発揮されたと言える。会期中に運営委員会が開催され, 次回 (第 32 回) 開催は 2018 年秋期にヨーロッパ地区として University of Twente と Oxford University が担当し Twente (オランダ) にて開催されることとなった。また, 会議に併設して, 高速度イメージング機器の企業展示を行い, 日英米の 15 社から最先端機器の紹介がなされた。